

事務局からの報告・説明

(令和7年度の協議会活動について)

令和7年6月30日

中国地域半導体関連産業振興協議会事務局

(中国経済産業局 地域経済部 半導体関連産業室)

- 
1. 中国地域半導体関連産業振興協議会の状況
 2. 令和7年度（2025年度）の取組
 3. 協議会の自立化・自走化に向けた調整状況

中国地域半導体関連産業振興協議会の状況

【設立目的】

中国地域のデジタル社会実現の基盤となる半導体関連産業の中期的な発展の方策を検討する。

【設立時期】

令和4年10月5日

【会員】

- 会員数は令和7年6月26日時点で282機関。
- 事業区分ごとの内訳は、

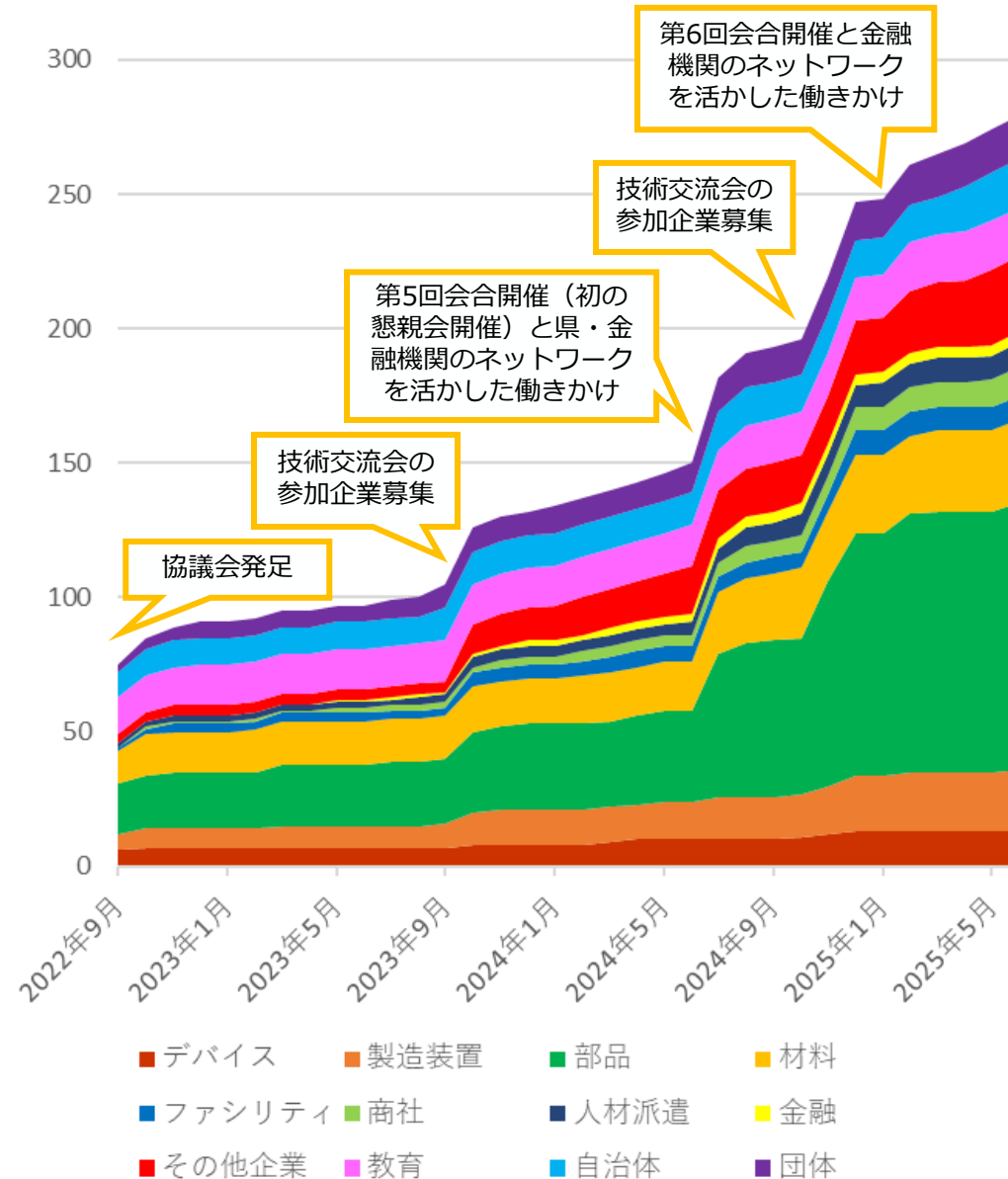
民間企業が231社

うち半導体デバイス	13社	商社	11社
半導体製造装置	23社	人材派遣	9社
半導体製造装置部品	101社	金融機関	4社
半導体材料	31社	その他	29社
ファシリティ	9社		

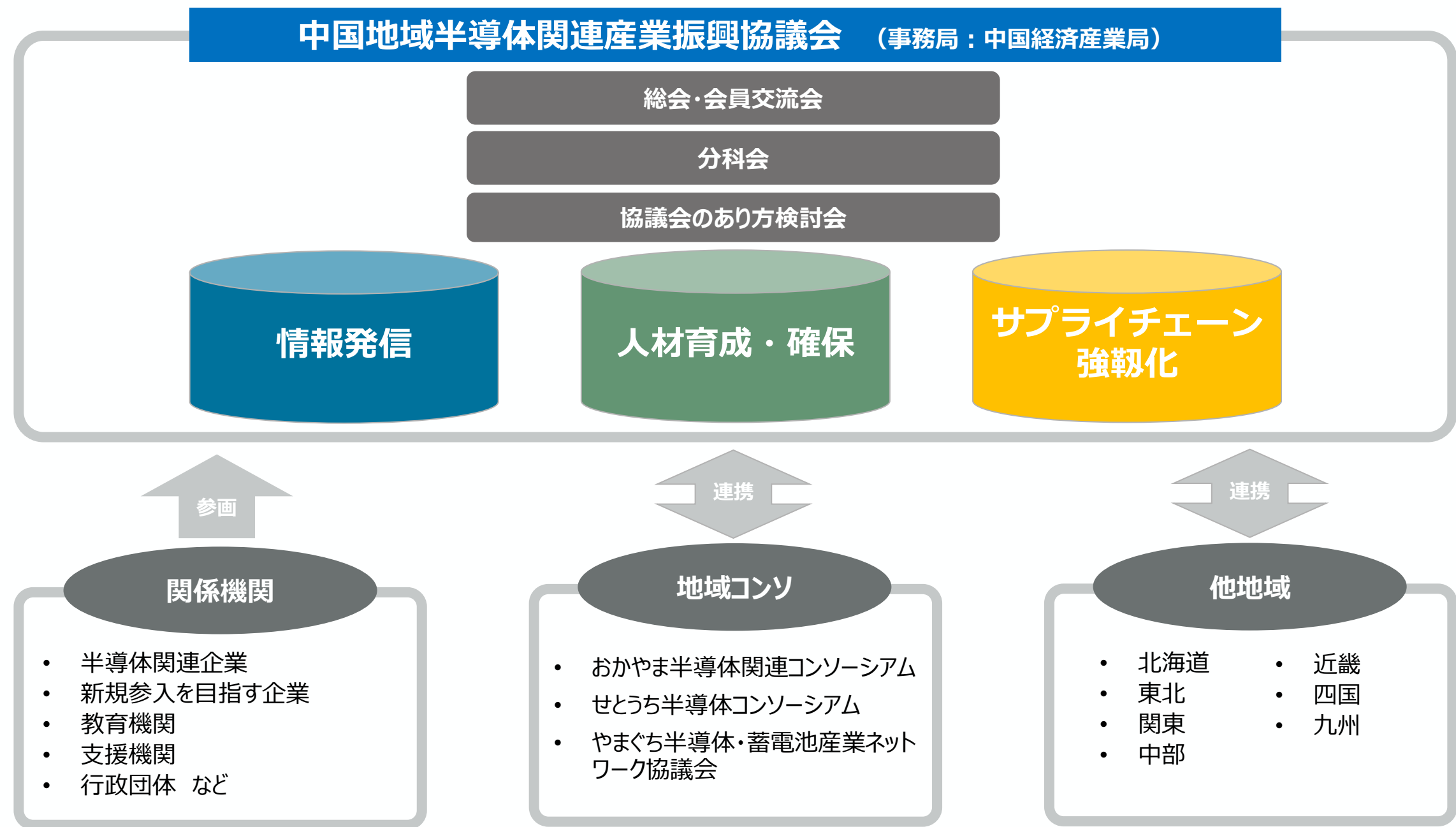
ほか、教育機関 18機関
官公庁 18機関、支援機関・団体 16機関

- 立地ごとの内訳では、鳥取県が12機関、島根県が18機関、岡山県が46機関、広島県が114機関、山口県が52機関、その他地域が40機関。
- 会員の詳細は[こちら](#)。

会員数の推移



協議会活動の全体概要



- 
1. 中国地域半導体関連産業振興協議会の状況
 2. 令和7年度（2025年度）の取組
 3. 協議会の自立化・自走化に向けた調整状況

主な協議会全体／情報発信の取組

- 新たに分科会の設置・運営、広域連携・地域内連携の強化、セミナー開催を通じた情報発信などを予定。

① 総会の開催

- ✓ 政策動向や協議会活動を第5回、第6回総会にて報告。
- ✓ 会合後には100名以上が参加する会員交流会（名刺交換会）も開催。



② 分科会の設置

新規

- ✓ さまざまな関係者が集まり「人材育成・確保分科会」と「サプライチェーン強靱化分科会」およびそれらの下部組織である専門部会を設置・運営する。

③ 協議会のあり方検討会

- ✓ 事務局内に「あり方検討会」を設置して自立化・自走化を含む協議会組織の今後のあり方について議論。議論結果を中間報告として公表。

- ✓ 「3. 協議会の自立化・自走化に向けた調整状況」にてご説明。

④ 広域連携・地域内連携

新規

- ✓ 取組への相互参加などを通じて九州、東北、北海道、四国などの他地域との連携を強化。
- ✓ 「自治体連携会議」により、半導体支援に意欲的な中国地域内の行政機関・支援機関の連携も強化。

⑤ セミナー開催

新規

- ✓ 会員ニーズの高いさまざまなテーマについて協議会主催セミナーを3～5回程度開催。

令和6年度の取組

令和7年度の取組

- ✓ 6月30日に第7回総会をオンライン開催。
- ✓ 3月頃に第8回総会をハイブリッド開催予定（会員交流会も実施予定）。

①分科会の設置【新規】

- 会員同士の議論の場として、協議会活動の柱である「人材育成・確保」と「サプライチェーン強靱化」それぞれについて分科会を設置・運営し、今後の活動の方向性について議論。
- 分科会の中には専門部会を設け、より踏み込んだ議論やネットワーキングの場とする。

中国地域半導体関連産業振興協議会

人材育成・確保分科会

目的	半導体人材不足に対し、将来的な担い手となる人材の総数を増やすために必要な取組を推進する
メンバー	大学、高専、工業高校、教育委員会 企業（大企業、中小企業）、労働局、自治体等 教育関係機関や労働行政を中心にメンバーを選定
開催方法	2回（オンライン）
検討内容	① 中国地域における半導体人材育成・確保に向けたグランドデザイン（基本的な考え方）の検討（令和7年度） ② 協議会が実施すべき人材育成・確保の取組のターゲット及び具体的取組の検討（令和7年度） ③ 各年度の取組のフォローアップ（令和8年度～）

サプライチェーン強靱化分科会

目的	半導体関連企業の取引拡大、半導体業界への新規参入、その他半導体関連企業の共通課題解決などを通じた半導体関連サプライチェーンの強靱化に向けて必要な取組を推進する
メンバー	企業（後日メンバー募集予定）
開催方法	2回（オンライン）
検討内容	① 中国地域のサプライチェーン強靱化に向けた取組の検討（令和7年度） ② 各年度の取組のフォローアップ（令和8年度～）

装置部品サプライヤー部会

目的	半導体製造装置の部品サプライヤー企業同士で共通課題（技術流出対策、シリコンサイクル対策、BCP等）の解決に向けた意見交換を行う。
メンバー	企業（後日メンバー募集予定）
開催方法	2回（対面＋オンライン）

②広域連携・地域内連携の強化【新規】

- 中国地域と同様に半導体関連産業の集積強化を目指す九州、東北、北海道、四国など他地域との広域連携を強化。各地域のビジネスマッチング・商談会への相互参加（「チャレンジマーケット」@九州、「企業間交流会」@東北、「オンラインセミナー」@北海道）や共同での事業実施（SEMICON Japan「中四国パビリオン」）を予定。
- また、中国地域内の地域内連携も強化するため、行政機関・支援機関同士の情報・意見交換、ネットワーキングの場である「自治体連携会議」を7月4日に開催予定。

九州との連携 「チャレンジマーケット」

概要	九州を中心とした大手半導体関連企業と、地域の企業等を結ぶマッチングイベント。大手半導体関連企業が提示したニーズに応える技術を持つ数十社がブースを設けることで実施する。
主催	九州半導体人材育成等コンソーシアム
日時	調整中
場所	三菱電機パワーデバイス製作所（予定）
過去の実績	チャレンジマーケット2024 令和7年1月29日（水）11:00-15:30 東京エレクトロン九州株式会社 合志事業所 事務棟1階311・312会議室 ・ 31社が出展し、東京エレクトロン九州の開発部門をはじめとする各部門から担当者が述べ293名参加 

東北との連携 「企業間交流会」

概要	T-Seeds会員間のネットワーク構築、取引拡大を目的とした企業間交流会。各会、会員ニーズ等に応じて、様々なテーマについての講演を行ったのちに交流会を実施。
主催	東北半導体・エレクトロニクスデザインコンソーシアム（T-Seeds）
日時	9月頃で調整中
場所	仙台市内を予定
過去の実績	第3回企業間交流会 令和7年6月18日（水）@仙台市内 講師：内外テック株式会社 代表取締役会長 権田 浩一氏  

九州半導体人材育成等
コンソーシアム



九州に立地する
大手半導体関連企業



- ・ ブース出展
- ・ シーズ提供



- ・ 技術ニーズ提示
- ・ 事前説明会
- ・ イベント開催 etc...

地域の企業等



③セミナーの開催【新規】

- 協議会会員の多くが共通して関心を持つテーマに関する協議会主催セミナーを3～5回程度開催する。
- 第一弾として、本日（6月30日）、経済産業省 技術調査・流出対策室より「経済安全保障の観点からの技術流出対策について」と題して説明。
- 第二弾として、8月5日に中国地域を代表する半導体製造装置部品メーカーである株式会社ひびき精機の松山代表取締役社長から、半導体業界の特徴、異業種から半導体業界に挑戦した同社のこれまでの歩み等を語っていただくセミナーを開催。第三弾以降は調整中。
- その他、会員企業が主催するオンラインセミナーについても公益的な内容であれば協議会内に周知を行う。

第二弾セミナーの概要

日時	令和7年8月5日（火）14:00～15:30
開催方法	ひろぎんホールディングス本社ビル4階（広島市）とMicrosoft Teamsによるハイブリッド開催
対象者	中国地域半導体関連産業振興協議会会員ほか全国の半導体地域コンソ会員の企業
セミナータイトル	半導体業界への挑戦
講師	株式会社ひびき精機 代表取締役社長 松山 功 （山口県下関市）
参加費用	無料
詳細	https://www.chugoku.meti.go.jp/r7fy/event/handoutai/250623.html

無料ハイブリッドセミナー 3局（北海道・東北・中国経済産業局）合同企画

半導体業界への挑戦

開催日時
2025年8月5日(火) 14:00～15:30
(13:30受付開始)

【会場】ひろぎんホールディングス本社ビル4階（広島市中区紙屋町1丁目3-8）※Webでもご参加いただけます。

【対象者】中国地域半導体関連産業振興協議会会員ほか地域協議会・コンソーシアム会員（※）
（※）半導体産業に関心を持って、新技術導入を目指す企業、この分野で最先端技術を開発している企業等
 ① 北海道産業振興局、② 東北産業振興局、③ 中国経済産業局、④ 中国地域半導体関連産業振興協議会、⑤ 中国地域半導体地域コンソ会員の企業等

【プログラム】（1）「中国地域半導体関連産業振興協議会の活動について」
 中国経済産業局 地域経済部 製造産業課 半導体関連産業室 室長補佐 松林 裕子
 （2）ご講演「半導体製造装置産業における多品種少量生産」
 講師：株式会社ひびき精機 代表取締役社長 松山 功 様
 ※ 本セミナー終了、同会場にて往復の各別交歓会を実施予定です。

講師紹介 株式会社ひびき精機 代表取締役社長 松山 功 様

金属を微細なもので1ミクロン（0.001mm）の寸法精度で加工する装置とマシンングによる精密精密切削加工を主事業とする中国地域を代表する半導体製造装置部品メーカー。50年の歴史を誇る技術・技術を活かし、半導体・航空宇宙・医療・バイオテクノロジー・エネルギー分野と様々な業界の研究開発に貢献。2009年4月に入社。製造現場経験を経て研究開発業務の職に転換し、スタートアップ支援等に就す。
 【URL】 <https://www.hibikiseiki.com>

【申込方法】
 下記URLまたは右の二次元コードから申込フォームへアクセスしてください。（参加無料）
<https://hirogin-areadesign.smtk.jp/public/seminar/view/2508>

（主催）中国地域半導体関連産業振興協議会事務局（中国経済産業局）
 （運営委託）ひろぎんコアデザイン株式会社
 （協賛）中国経済産業局
 （問い合わせ先）ひろぎんコアデザイン株式会社
 （E-mail） seminar@hirogin.co.jp
 （Tel） 080-9955-6542

主な人材育成・確保に関する取組（全体像）

- 将来的にさらに深刻となる半導体人材の不足に備え、半導体業界の裾野拡大、認知度向上、興味・関心の喚起を目的に小中学生～大学生・大学院生、保護者、教職員をターゲットとした取組を拡充して実施。
- いずれの取組においても、今後の継続・波及効果に鑑み、直接の関係団体だけではなく、自治体・教育機関・企業等、関係団体と連携した取組とする。

①半導体講座に対する支援

- ✓ 岡山大学と連携し、全学年（一般教養）、文系、理系B1、理系M1向けに半導体関連の講座を開設（計119名が受講※）。学生の多様な層へのアプローチ、企業のリスキリングの場としての有用性も確認



一般教養：スマホ分解実習の様子

拡充

②半導体企業パンフレット

- ✓ 中国地域半導体関連産業振興協議会の会員企業21社を掲載したパンフレットを作成。



<https://www.chugoku.meti.go.jp/seisaku/tiki/handoutaikansangyou/pamphlet.pdf>

大幅拡充

③工場見学ツアー

～小中学生・保護者～

- ✓ 東広島市と連携し、マイクロンの工場見学ツアーを実施（県内外から42名が参加）。応募は定員を大きく上回り、遠方からの参加や満足度の高さから需要・効果を確認。



～教職員～

- ✓ 広島大学半導体産業技術研究所、マイクロンの工場の見学ツアーを実施（13名が参加）。教育現場や進路指導に活かせるなど満足度の高さを確認。



大幅拡充

～大学生・大学院生～

新規

- ✓ 岡山大学での半導体講座を継続。一般教養及び理系B1について、**県内18大学との単位互換を開始。**
- ✓ 他大学・高専への水平展開に向けた働きかけも継続。
- ✓ 別に**笠岡工業高校**での地元企業と連携したモデル的取組の試行支援も開始。

- ✓ 講義、出前講座、就職関係イベントでの活用や教育機関への配布を予定（**1500部以上**）

- ✓ 東広島市（マイクロン）での開催に加え、**新たに岡山県井笠地域（タツモ、エスタカヤ電子工業）で開催予定**

- ✓ 東広島市（広島大学・マイクロン）での継続開催に加え、**新たに福山市（調整中）、岡山県井笠地域（安田工業、ローム・ワコー）で開催予定**
- ✓ 福山市・井笠地域においては、福山大学の協力で事前セミナー実施予定。

- ✓ **新たに山口県周南・下松地域（日立ハイテク、トクヤマ）で開催予定**

①半導体講座に対する支援（大学）

概要

岡山大学での半導体講座の実施【拡充】

- 岡山大学が令和5年度に多様な対象に向けた半導体講座を新設。
- 協議会としては、人材の受皿拡大に資する取組として、講座継続のための仕組み作りを支援。

分類	授業名	日程	概要	外部講師	備考
①全学年 (一般教養)	“アタリマエ”の科学 ～スマホに映る半導体と社会～	9/17～ 19	3日間でスマホ分解のワークショップと工場見学などを実施	JEITA、シャープ福山レーザー	単位互換
②文系	経営学入門	7/8	連続講義の1コマにおいて、広島大学より外部講師を招聘しケーススタディを実施	広島大学	
③理系B1	先端半導体テクノロジー入門	9/11、12	企業等外部講師による講義を中心に興味導入的な講座を実施	広島大学、岡山理科大、マイクロメモリジャパン、ルネサス、広島大学、SEAJ、シャープ福山レーザー、フェニテックセミコンダクター、エスタカヤ電子	単位互換 公開講座
④理系M1	先端半導体テクノロジー	9/25、26、 29、30	次世代半導体テクノロジーに関する基礎・回路・材料・計測の4領域の知識を、座学・演習で実施	広島大学、岡山県立大学、岡山理科大学、タツモ、シャープ福山レーザー、エスタカヤ電子工業	公開講座

※ 令和7年度からは大学コンソーシアム岡山での枠組みにより、県内18大学との単位互換を開始

【協議会の支援】

- ・モデル的取組として、企業との繋ぎなど講座の実施支援
- ・水平展開・講座の継続に係る検討支援（アンケートの分析を含む）
- ・社会人向け講座等、取組の広報周知
- ・講座継続に係る検討



①半導体講座に対する支援（工業高校）

概要

笠岡工業高校での半導体講座の新設【新規】

- 近隣地域に半導体関連企業が集積する笠岡工業高校は、特色ある取組の一環として、生徒の半導体分野への関心を高めることを目的とした半導体講座を令和7年度に新設。
- 令和7年3月にはローム・ワコー株式会社と就業体験実習に係る協定を締結。「笠工型デュアルシステム」として、同社で半導体実習をするほか、近隣大学、他の地域企業とも連携した半導体教育を実施。
- 協議会としては、人材の裾野拡大・受皿拡大に資する取組として、講座実施等を支援。

協力団体	分類	学年	日程	概要	備考
ローム・ワコー	出前講座	2年生	4月半ば	・実習前のガイダンス	
	実習	2年生	5/13～6/24	・3班に分かれて、2週ずつ、クリーンルームでの実習を実施 ・1週目（前工程：ダイオードの工場見学）、2週目（クリーンルームでの体験実習）	教職員向け研修連携予定
福山大学	一日体験入学	2年生	9/9	・工学部での講義、キャンパスツアー	教職員向け研修連携予定
シャープ福山レーザー	出前授業	1年生	10/2	・見学前のガイダンス	
	工場見学	1年生	10/9	・レーザー部門、半導体部門の工場見学	教職員向け研修連携予定
エスタカヤ電子工業	工場見学	2年生	11/4	・後行程の工場見学	小中学生・保護者向けツアー連携予定
	実習	2年生	検討中	・3班に分かれて、クリーンルームでの実習を実施（後行程）	



【協議会の支援】

- ・工業高校と地元企業のマッチングに係る支援
- ・モデル的取組としての講座の実施支援
- ・他事業との連携による工業高校（産業教育）の魅力向上に係る取組検討など

②半導体企業パンフレット

- R6年度の取組として、学生の半導体業界への興味関心を高め、中国地域の半導体企業の知名度を高めることを目的に「[中国地域の半導体企業パンフレット](#)」を作成。
- 今年度は「活用の年」と位置づけ、協議会主体のイベントのほか、キャリア講演会等、各種イベントやセミナーにおいて積極的に配布・展開予定。
- 実際の活用を通じ、受け手の反応や活用上の工夫・課題等について意見を収集、必要に応じて来年度以降のリニューアルも検討予定。

概要

目的	半導体業界の魅力発信と地域に所在する半導体企業の周知
ターゲット	学生（高校、高専、大学など）
掲載内容	- 半導体とは（半導体の概要、業界、人材、研究・教育等） - 企業紹介（会員企業から21社）
コンセプト	主に中国地域の教育機関からの卒業生である若手従業員の紹介を通じて業務内容、学生時代の専攻分野等、学生が知りたい情報を掲載。
配布状況	協議会主体のイベントでの配布はこれからだが、企業、大学、高専、高校等に既に1500部超を配布。 ※進路指導室・キャリアセンターへの配布、キャリア講演会（JEITA・広島大学）、県教委を通じた周知など



ページイメージ



半導体デバイス：7社
 半導体製造装置：5社
 半導体製造装置部品：6社
 半導体材料：2社
 ファシリティ：1社

- 若年層の半導体の認知度向上、興味・関心の喚起、学生の就職先の決定に影響力の大きい保護者にアプローチするために、小中学生および保護者を対象とした半導体工場見学会を実施。
- 昨年度実施した東広島市（半導体産業に関心の高い地域）の継続とともに、半導体の集積が見られる地域のひとつである井笠地域に取組を拡大。
- いずれも自治体、教育機関と連携した取組とし、継続性及びについても検証。

概要

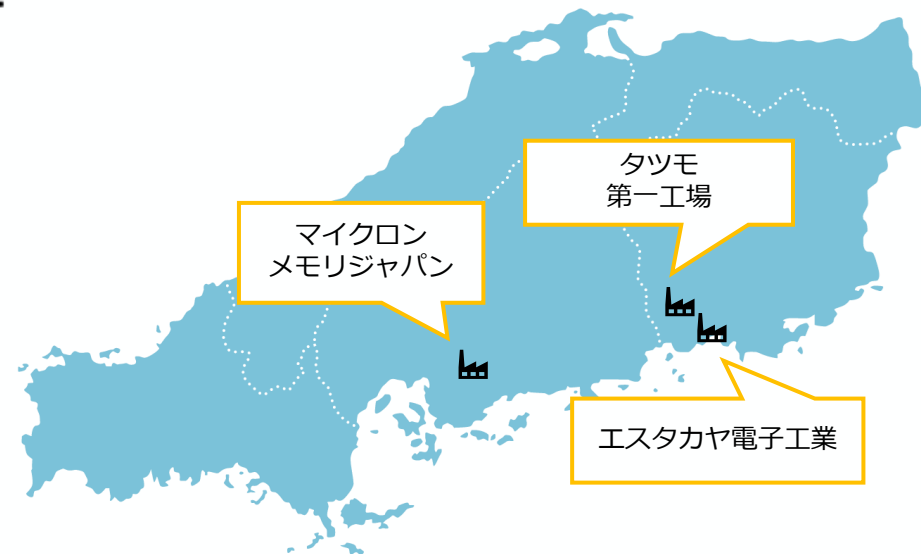
micron

TAZMO®



エスタカヤ電子工業株式会社

対象者	中国地域在住の小中学生と保護者
回数	全2回
開催時期	令和7年12月下旬
開催場所	第1回 広島県東広島市（マイクロンメモリジャパン） 第2回 岡山県井原市・里庄町（タツモ、エスタカヤ電子工業）
実施内容	座学・工場見学・意見交換
備考	・ 継続実施の東広島市では教育委員会が実施するオンライン工場見学等の取組と連動し、より効果的な取組手法について検討する ・ 新規実施の地域では、地元工業高校の魅力発信の取組とも連携する



- 学生のキャリア選択においては、教職員の意見や知見が大きく影響することから、教職員の半導体に対する理解を深め、半導体関連の知見が進路指導や授業でも活用されることを目的に、教職員向け半導体研修事業を実施。
- 令和6年度に実施した東広島市での教職員向け研修は、教職員からの満足度が高く、一定の効果が見られた一方、参加者の制約（日程・場所等）があったことから、令和7年度は、東広島市での継続に加え、比較的半導体産業の集積が見られる岡山県西部～広島県東部でも開催。

概要



対象者	中国地域に所在する教育機関の教職員
回数	全3回
開催時期	令和7年9月～令和7年11月
開催場所	事前セミナー 福山大学 第1回 10/15 岡山県笠岡市・里庄町（ローム・ワコー、安田工業） 第2回 11/2 東広島市（広島大学・マイクロンメモリジャパン） 第3回 12/3 福山市（調整中）
実施内容	座学・工場見学・意見交換（東広島市は＋ラボツアー）
備考	研修については、以下の観点に基づくものとする。 ①学校での学びの、企業の現場での活用 ②学生に対する進路指導への活用

※ 事前セミナーは教職員以外も参加可

半導体の現場を知り 教育と産業をつなぐ

教職員向け 半導体研修

受講無料!
(ランチ・会場費のみ)



中国地域の産業を支える半導体関連企業を現地に訪問し、製造現場の見学や人事担当者との意見交換を通して、教育と産業界の接点を体験いただける貴重な機会です。
授業づくりや道説指導に活かせる知見を得たい先生方のご参加をお待ちしています！

半導体産業の全体像を専門家から学ぶ事前セミナー

事前に①～③、大卒の学生は④～⑥まで受講していただきます。
半導体産業の基礎知識から、補給品・半導体産業の現状まで、現場へ立つ必要知識をわかりやすく解説します。
また、夢の就職先や学歴との関係などについて、より深い理解・就職活動への応用が期待できます。オンラインでも視聴できるので、ぜひお時間に合わせてください。

事前セミナーも可能
教職員以外の受講も可能

事前セミナー

2025年7月2日(水) 14:00～15:30

【定員】 2025年6月27日(金)

学校法人福山大学社会連携推進センター
〒720-0061 広島県福山市丸之内1-2-40

50名（オンラインでの参加は定員無制限）

講師プロフィール

講座



香川 直己 教授

福山大学 工学部機械工学科 / 工学部 電気電子工学科 キャリア形成支援委員長
広島大学大学院工学研究科准教授。企業の研究開発責任者として長く活躍され、
講演や著書で広く知られる。平成、令和の両時代、研習・研修プログラムに対する高い関心を持ち、半導体人材育成の観点から地域産業との連携を推進されている。

近年は、中小企業と大学、大企業と大学による二つの異なるプログラムの構築や、半導体技術の発展動向に関する最先端にも注力するなど、大学・企業・行政をつなぐべく積極的役として活動中。

実際の製造現場を見学し、産業の今を体験！

今回は、中国地域を代表する半導体関連企業への現地訪問を通じて、製造現場の設備等について実際に学びます。
また、技術や生産者の現場や仕事内容の直接説明を通じて、企業が求める人材や職場環境などについて深く理解することが出来ます。
授業の内容だけでなく、施設見学、質問と回答などの時間を通して、学びの機会にしてください。

Aコース（井立方面）	Bコース（福山方面）
● 10月15日(木) 13:00	● 12月3日(水) 13:00
● ローム・ワコ株式会社／安田工業株式会社	● 半導体関連企業2社で調整中

お申込み・お問い合わせ

お申し込みは、中国地域半導体関連産業振興協会のホームページ、または
QRコードを参照いただいたフォームからお申し込みください。

問合せ：中国地域半導体関連産業振興協会 事務局 TEL. 082-224-5709

中国地域半導体関連産業振興協会

〒720-0061 広島県福山市丸之内1-2-40

TEL. 082-224-5709 FAX. 082-224-5708

協賛

中国地域半導体関連産業振興協議会

協賛

福山商工会議所

協賛

福山大学

主催／中国地域半導体関連産業振興協議会 | 共催／中国経済連合会 | 共催／福山商工会議所 | 福山大学



概要

大学生・大学院生向け工場見学会：山口方面

- 中国地域では、理工系人材の供給ポテンシャルが大きいにもかかわらず、学生の域外流出が顕著。
- 潜在的な供給ポテンシャルを活かし、半導体業界が選ばれるための業界の理解醸成・魅力発信に繋げるとともに、地域企業の認知度を向上し、地域内に人材が定着する取組を試行。
- 新たに山口県内半導体企業への工場見学を企画し、近隣県を含む大学生／大学院生向けの工場見学会を実施。



対象者	中国地域の大学生・大学院生
開催時期	9月3日（水）
開催場所	①トクヤマ（山口県周南市） ②日立ハイテク笠戸地区（山口県下松市）
実施内容	座学・工場見学・意見交換
備考	下記大学を起点としたバスを運行 （広島大学及び山口大学）



主なサプライチェーン強靱化に関する取組

- 多数の会員企業の期待に応えるため、「取引拡大」「ネットワーク構築」に繋がる支援を重点的に拡充。

①技術交流会

- ✓ ニーズ発信企業（マイクロメモリジャパン、東京エレクトロン、ディスコ、タツモ、ジェイ・イー・ティ、ジェーイーエル）のニーズに対して全国の協議会・コンソ企業が自社技術の提案を行い、個別面談を行う「技術交流会」を開催。
- ✓ 60社から提案があり、選考を経て27社が商談を行った。



拡充

- ✓ これまで同じ日時・場所に集まって一斉開催していた開催方法を、**提案企業がニーズ発信企業に赴いて提案する形式に変更し、開催回数を5回に拡大。**
- ✓ ニーズ発信企業の同意が得られれば併せて工場見学・交流会も開催する。

②工場見学・交流会

—

新規

- ✓ 協議会員企業が半導体／製造装置の製造工程についての理解を深め、課題解決に向けた提案のヒントを得るための**工場見学会を新たに2回開催予定（1回目は9/12に日立ハイテク笠戸地区を予定）。**
- ✓ 工場見学後には交流会も開催。

③展示会共同出展

—

新規

- ✓ 12月に開催される**SEMICON Japanに新たに「中四国パビリオン」として共同出展。**
- ✓ パビリオン用のパンフレット制作、他ブースとの相互交流企画なども予定。

④ビジネスマッチング

—

新規

- ✓ その他、会員企業同士の個別マッチング支援を行う。

令和6年度の取組

令和7年度の取組

①技術交流会の開催【拡充】

- ニーズ発信企業が提示した技術ニーズに対し、協議会の会員企業等が自社技術の提案を行い、選考を経て商談を行うマッチングイベント「技術交流会」を5回開催予定。第一弾として現在、[シャープ福山レーザー](#)が提示した技術ニーズへの提案を募集中。
- 本事業を通じてニーズ発信企業の課題解決や提案企業のビジネス拡大を支援。

概要

SHARP



SCREEN

TEL
TOKYO ELECTRON

回数	計5回（ニーズ発信企業5社）
ニーズ発信企業 （開催時期）	(1)シャープ福山レーザー株式会社（8月27日～29日）※提案募集中 (2)株式会社スズキ（10月） (3)株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズ（12月） (4)東京エレクトロン株式会社（2月） (5)調整中
面談時間	商談1件あたり30～60分程度
開催場所	原則ニーズ発信企業の本社、工場、事業所等の会議室
提案資格	中国地域半導体関連産業振興協議会の会員ほか全国の半導体地域コンソの会員
参加費用	ニーズ発信企業、提案企業いずれも無料



課題解決

取引拡大

付加価値
向上

無料マッチングイベント 中国地域半導体関連産業振興協議会 事業

半導体関連産業 技術交流会 in シャープ福山レーザー

開催日時
2025年8月27日(水)～29日(金)
※詳細な日程・時刻は後日公表予定

ニーズ発信企業
シャープ福山レーザー株式会社 SHARP

開催概要

【会 場】シャープ福山レーザー御本社（広島県福山市大門町旭1番地）
【対象者】半導体業界への参入や新たな取引先の確保を目指す以下の国が関係する半導体関連の協議会・コンソーシアム（※）の会員
（※）中国地域半導体関連産業振興協議会、北海道半導体人材育成等推進協議会、東北半導体・エレクトロニクスデザインコンソーシアム（T-Seeds）、関東半導体人材育成等連絡協議会、中部地域半導体人材育成等連絡協議会、九州半導体人材育成等コンソーシアム、九州半導体・デジタルイノベーション協議会（SIIQ）
※ 技術交流会当日は、以下【技術交流会当日までの流れ】におけるStep 1の1次審査、Step 2の2次審査をパスした企業が参加できます。パスしていない企業は参加できませんので、ご了承ください。
※ 8月27日（火）の技術交流会終了後、技術交流会の参加企業を対象に、任意参加型の名刺交換会（無料）を実施予定です。

【技術交流会当日までの流れ】

Step1	Step2	Step3
6/20 (金) ニーズ概要説明会	7/15 (火) 1次選考	7/27 (水)～8/29 (金) 2次選考 商談会
7/3 (木) 提案書提出	7/18 (金) 詳細ニーズ説明会	8/1 (金)～8/20 (水) 詳細提案書提出

【情報の取扱い】提案書および詳細提案書は、ニーズ発信企業の他、必要に応じ、国が関係する半導体関連の協議会・コンソーシアム（※）に提出することがあります。予めご了承ください。

＜主 催＞中国地域半導体関連産業振興協議会事務局（中国経済産業局）
＜運営委託＞公益財団法人中国地域振興研究センター
ひまきエレクトロニクス株式会社
※本技術交流会は、技術研究組合最先端半導体技術センター（LISC）の「地域における先端半導体に関する人材育成推進事業」の一環として実施します。

お問い合わせ先
ひまきエレクトロニクス株式会社
E-mail: semicon@himgin.co.jp
(Tel) 080-9954-7030もしくは
080-9954-7041

中国経済産業局

②工場見学・交流会の開催【新規】

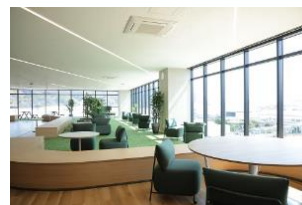
- 協議会の会員企業が半導体や半導体製造装置等の製造現場の見学を行い、見学後には参加企業同士の交流も図る「工場見学・交流会」を2回開催予定。
- 本事業を通じて参加企業の半導体業界への理解を深めることで、技術力や提案力の向上に繋げる。また、交流会を通じた参加企業同士のネットワーキングにも期待。

概要

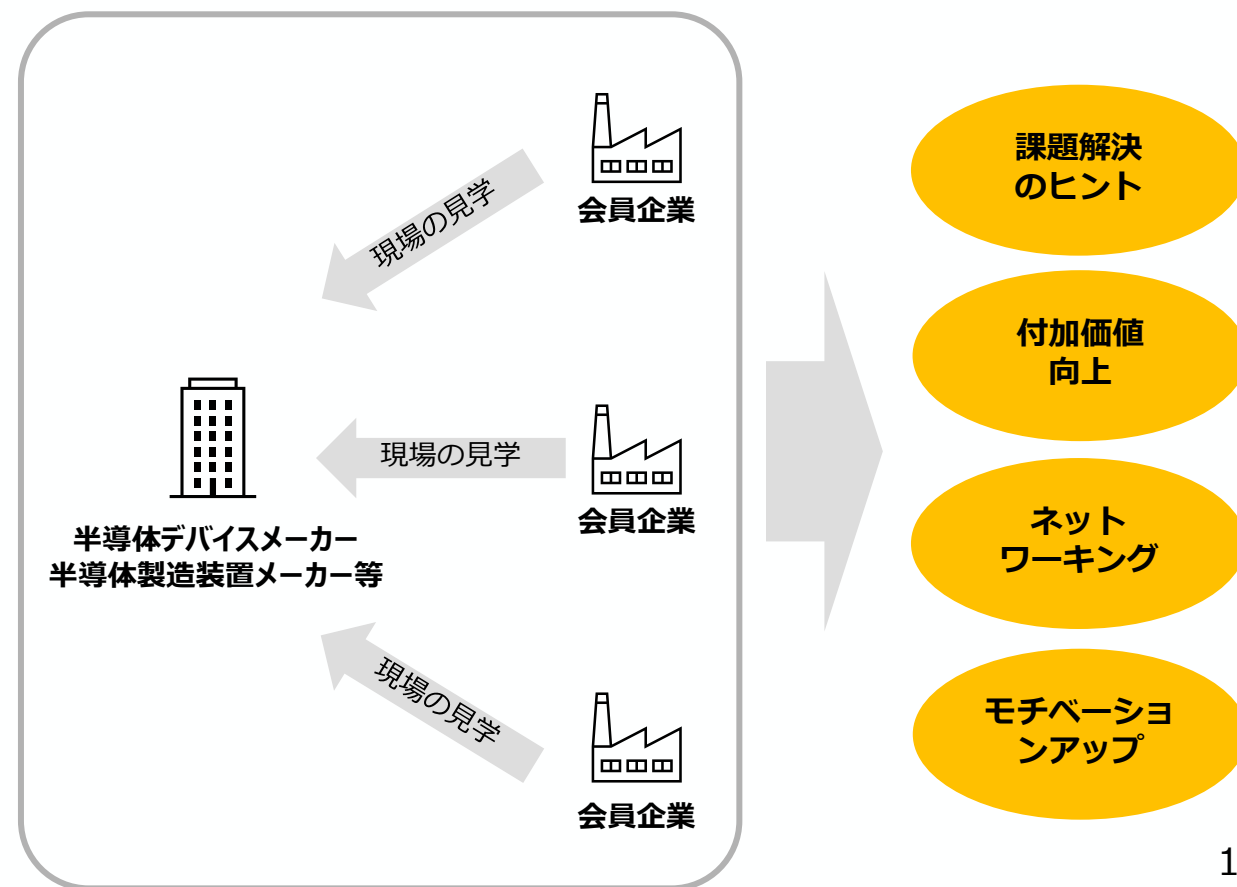
HITACHI
Inspire the Next

◎ 株式会社 日立ハイテク

回数	計1～2回
開催場所・時期	(1)株式会社日立ハイテク笠戸地区（9月12日） ※近日中に参加者の募集を開始予定 (2)調整中
当日の流れ	① 企業概要説明 ② 工場見学 ③ 交流会
参加企業数	1回あたり30名以内
参加資格	中国地域半導体関連産業振興協議会の会員 ほか一部他地域の半導体地域コンソの会員
参加費用	無料



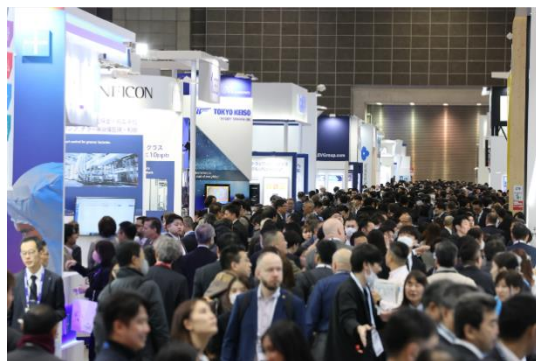
2025年3月に竣工した日立ハイテク笠戸地区にある半導体製造装置の新製造棟（同社HPより）



- 協議会の会員を中心に「中四国パビリオン」として[SEMICON JAPAN 2025](#)に初めて共同出展を行う。
- 中四国パビリオン用のパンフレット制作・配布や他地域パビリオン等との相互交流企画などを通じて、効果的な販路開拓、情報収集、参加者同士のネットワーク構築に繋げる。

SEMICON Japan 2025の概要

会期	令和7年12月17日（水）～19日（金）
会場	東京ビッグサイト 東展示棟・西展示棟・南展示棟・会議棟
主催	SEMI
過去の開催実績	SEMICON Japan 2024開催実績 ※()内は前回実績 出展者数：1,107者（961者） 小間数：2,789小間（2,265小間） 出展面積：24,093㎡（19,595㎡） 国数：35カ国（19カ国） 述べ来場者数：103,165人（85,282人） 来場者実数：45,698人（36,188人）



（提供：SEMIジャパン）

中四国パビリオンの概要

出展者	① エステック株式会社（島根県松江市） ② フェニテックセミコンダクター株式会社（岡山県井原市） ③ 株式会社フジワラケミカルエンジニアリング（岡山県倉敷市） ④ 安田工業株式会社（岡山県浅口郡里庄町） ⑤ 北川精機株式会社（広島県福山市） ⑥ サンセイジェネリック株式会社（広島県福山市） ⑦ タイム株式会社（広島県三原市） ⑧ ホーコス株式会社（広島県福山市） ⑨ マイクロンメモリジャパン株式会社（広島県東広島市） ⑩ 池田金属工業株式会社（山口県周南市） ⑪ 株式会社ひびき精機（山口県下関市） ⑫ 高松帝酸株式会社（香川県高松市） ⑬ 株式会社長峰製作所（香川県仲多度郡まんのう町） ⑭ 株式会社プロテック（香川県高松市） ⑮ 株式会社ダイテック（愛媛県西条市） ⑯ 広島県 ⑰ 広島大学
出展場所	西展示棟1階
展示スペース	W1,400×D990×H1,050／社

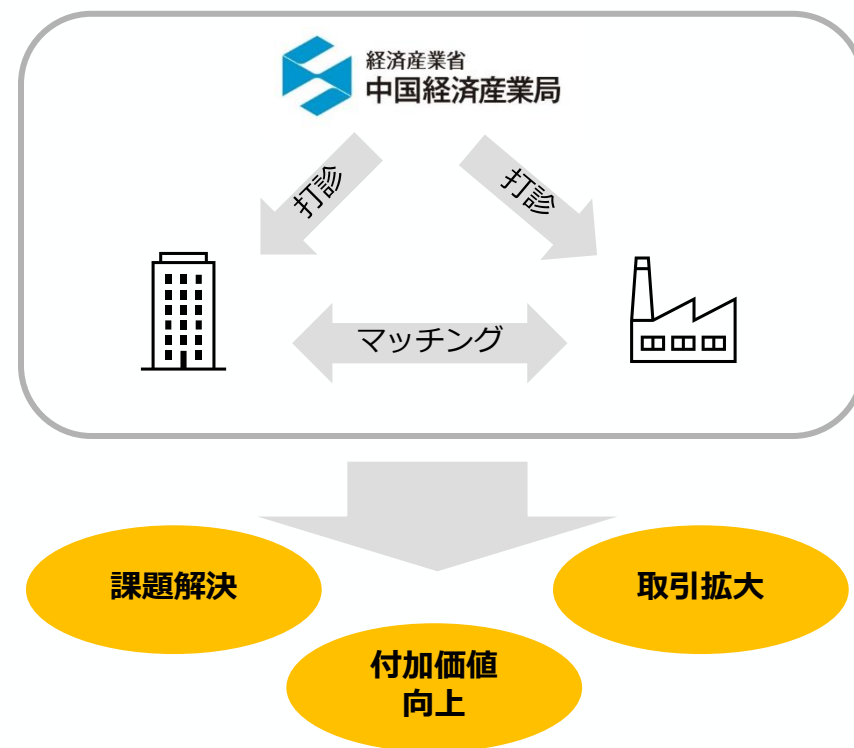
④ ビジネスマッチング支援【新規】

- 協議会の会員企業数は200社を超えており、潜在的な企業間マッチングニーズが非常に大きい。
- そのため、交流会開催や分科会活動によるネットワーキング（緩やかなマッチング）とは別に、協議会事務局のネットワークを通じた企業同士のビジネスマッチングを実施（最低5件以上）。

※随時実施予定のため、マッチング希望がある場合は事務局までご連絡ください。

概要

件数	5件以上の商談を実施
時期	令和7年8月～令和8年2月
商談時間	1回あたり60分程度
実施方法	会員からのマッチング希望 または事務局によるビジネスマッチングの仮説に基づき打診をし、対面 またはオンラインで商談を実施する
対象	いずれかは協議会の会員企業 ※必要に応じて広域でのマッチングも行う
費用	無料



- 
1. 中国地域半導体関連産業振興協議会の状況
 2. 令和7年度（2025年度）の取組
 3. 協議会の自立化・自走化に向けた調整状況

あり方検討の背景と自立化・自走化の調整状況

- 協議会活動を持続的なものとするためには、協議会発足当初より検討事項としていたように、本来あるべき民間主体の運営体制に移行するとともに、公費依存を脱して自己財源を確保し、「自立化・自走化」することが欠かせない。
- そのため、令和6年11月、協議会事務局内にさまざまな立場の委員11名から構成される「中国地域半導体関連産業振興協議会の今後のあり方にかかる検討委員会」（あり方検討会）を設置。自立化・自走化で先行する九州・東北の事例調査や協議会活動に対する会員の受け止めの調査をもとに、そもそも協議会が必要かも含め今後の本協議会のあり方についてゼロベースで議論を深めた。
- 議論の結果をまとめ、令和7年3月に次頁の内容で中間報告を行った。
- 令和7年度は、中間報告や5/30～6/18の期間で実施した会員アンケートの結果、個別にお聞かせいただいた生声等を参考に、自立化・自走化後の組織ミッションの設定、優先的に実施すべき取組（＝会員企業が協議会に期待している取組）の見極め・絞り込み、大まかな会費収入額の試算を踏まえた運営体制の構築等の具体的な自立化・自走化準備に取り組む。

中国地域半導体関連産業振興協議会の今後のあり方にかかる検討の中間報告

内部環境の変化への対応

会員数の増加、会員企業の規模・分野の多様化など

外部環境の変化への対応

デジタル化、米中対立、国の大規模かつ継続的な半導体投資支援など

活動をサステナブルに

公費への過度な依存からの脱却

協議会のあり方検討

1. 協議会の自立化・自走化について

- 2026年度以降は運営主体を民営化し、会費制によって自己財源を確保する（自立化・自走化）。
- 会費を徴収する以上、会員利益の最大化が求められるが、「即効性があり、会員からの要望も強い活動（サプライチェーン強靱化、人材確保など）」に加え、人材育成のように「中長期的に業界全体に裨益する活動」にも取り組む。
- 2025年度は活動内容を見極めるとともに、検討・調整（必要な会費の金額設定、運営主体や体制など）を進める。
- 2026年度以降も当面の間、中国経済産業局はこれまで同様、積極的に関与・貢献する。

2. 自立化・自走化を見据えた今後の活動と基本的な考えについて

分科会の設置

必要なテーマに基づく「分科会（議論の場）」を設置（会合は「総会（報告・情報共有の場）」）。

人材育成・確保

地域に根ざした取組とし、これまでの多様な層への半導体業界に関心を持ってもらうための取組を継続・拡充（回数増、地域の拡大など）。

サプライチェーン 強靱化

全国規模での取組とし、これまで取り組んだ技術交流会を発展的に継続（時期の分散、開催場所の変更など）。加えて、会員からの期待が大きい取組を検討（「工場見学等での企業間交流の促進」「他地域との連携促進」「展示会への共同出展」など）。

情報発信

3つ目の柱として「情報発信」を置き、これまで以上に積極的な政策・業界動向について共有。

会費制導入に関する会員意向アンケート概要

実施目的

中国地域半導体関連産業振興協議会（以下、「協議会」といいます。）の活動を持続的なものとするうえで欠かせない「自立化・自走化」（会費制導入による自己財源確保等）の検討を進めるにあたり、収支計画の策定や継続する取組の絞り込みを行うため。

実施概要

対 象	：	中国地域半導体関連産業振興協議会会員（2025.5.30時点）274機関
実施期間	：	2025年（令和7年）5月30日 – 2025年（令和7年）6月18日
実施方法	：	依頼 事務局からのメルマガでの発信
回答方法	：	Web上の回答専用画面への入力
有効回答数	：	175機関（総回答数：184件）
有効回答率	：	63.9%

サマリー

1.

「協議会への加入継続の意向」について質問したところ175件の回答があり、「継続する予定」との回答は36件（20.6%）、「取組内容次第では継続したい」との回答は95件（54.3%）、「取組内容によらず会費制になれば脱退する」との回答は44件（25.1%）であった

2.

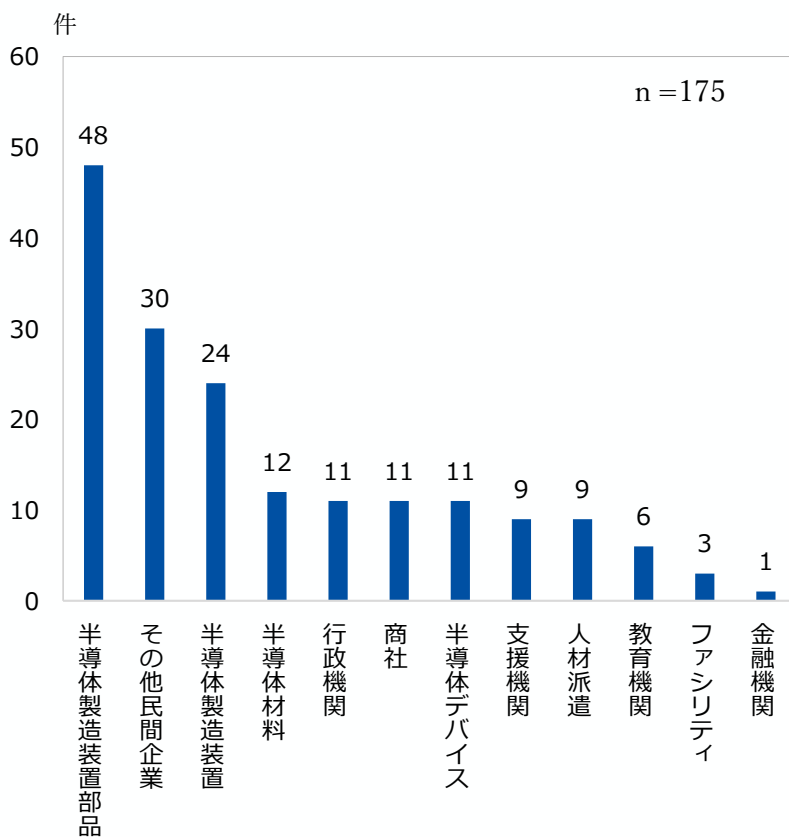
上記のうち民間企業では、「協議会への加入継続の意向」について150件の回答があり、「継続する予定」との回答は20件（13.3%）、「取組内容次第では継続したい」との回答は87件（58.0%）、「取組内容によらず会費制になれば脱退する」との回答は43件（28.7%）であった。

3.

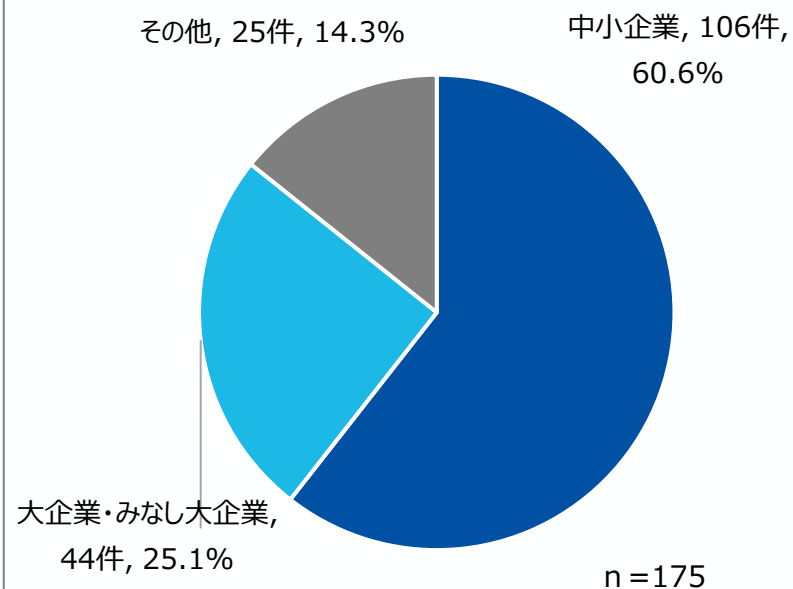
協議会の活動に関して、取り組んでほしい優先度を質問したところ、「大学・高専・高校等での出前講座の実施」「リカレント・新人教育への参加支援」「教職員向け工場見学会の開催」「教職員向け工場見学会の開催」など人材育成に関連する活動について、民間企業とそれ以外の組織（教育機関・支援機関・行政機関など）の間で差がみられた。

回答者属性

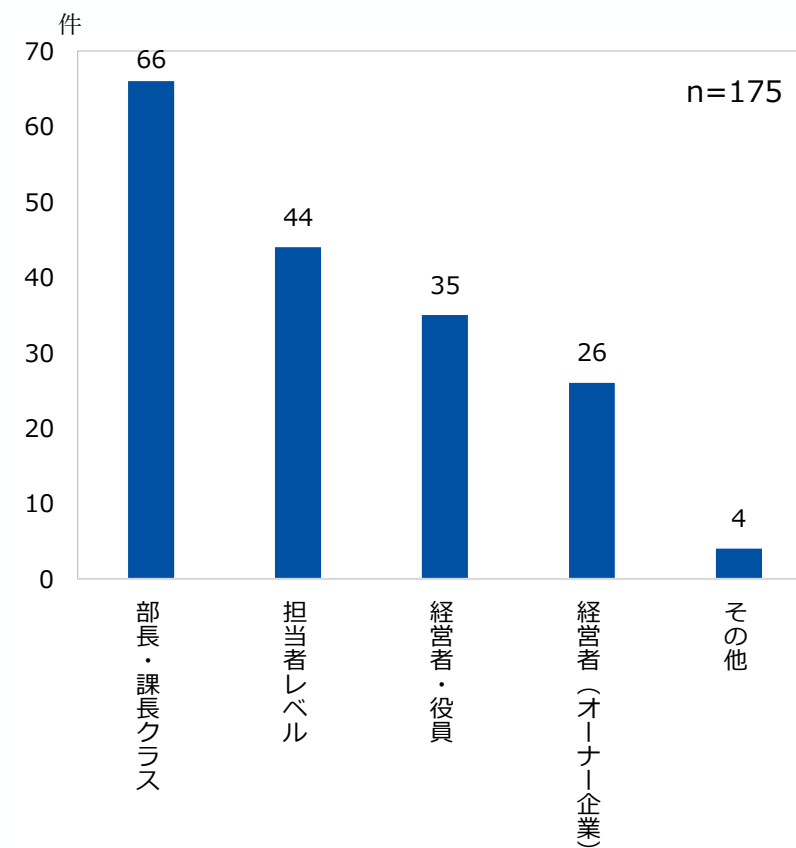
回答者の業種・事業区分



回答者の企業規模



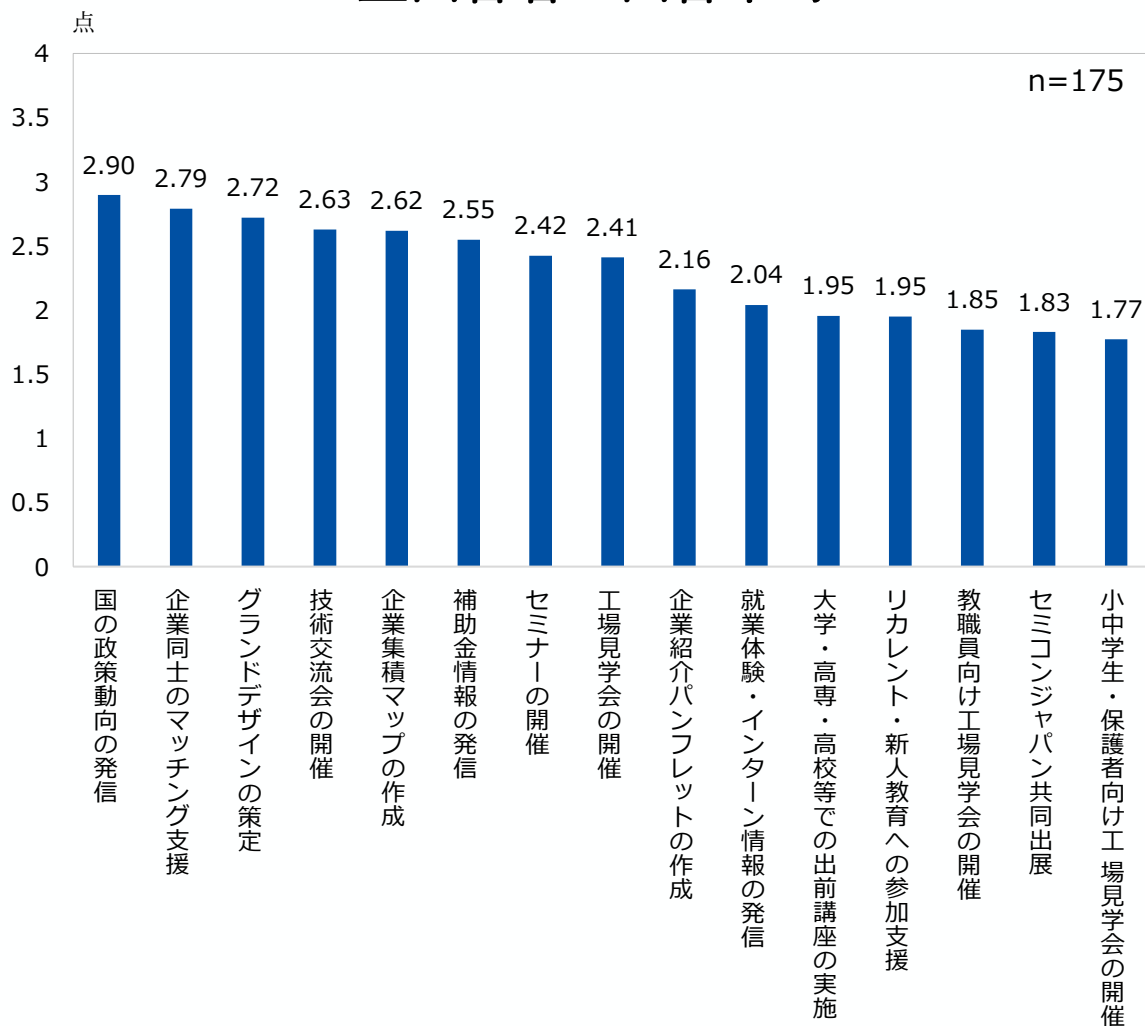
回答者の職位



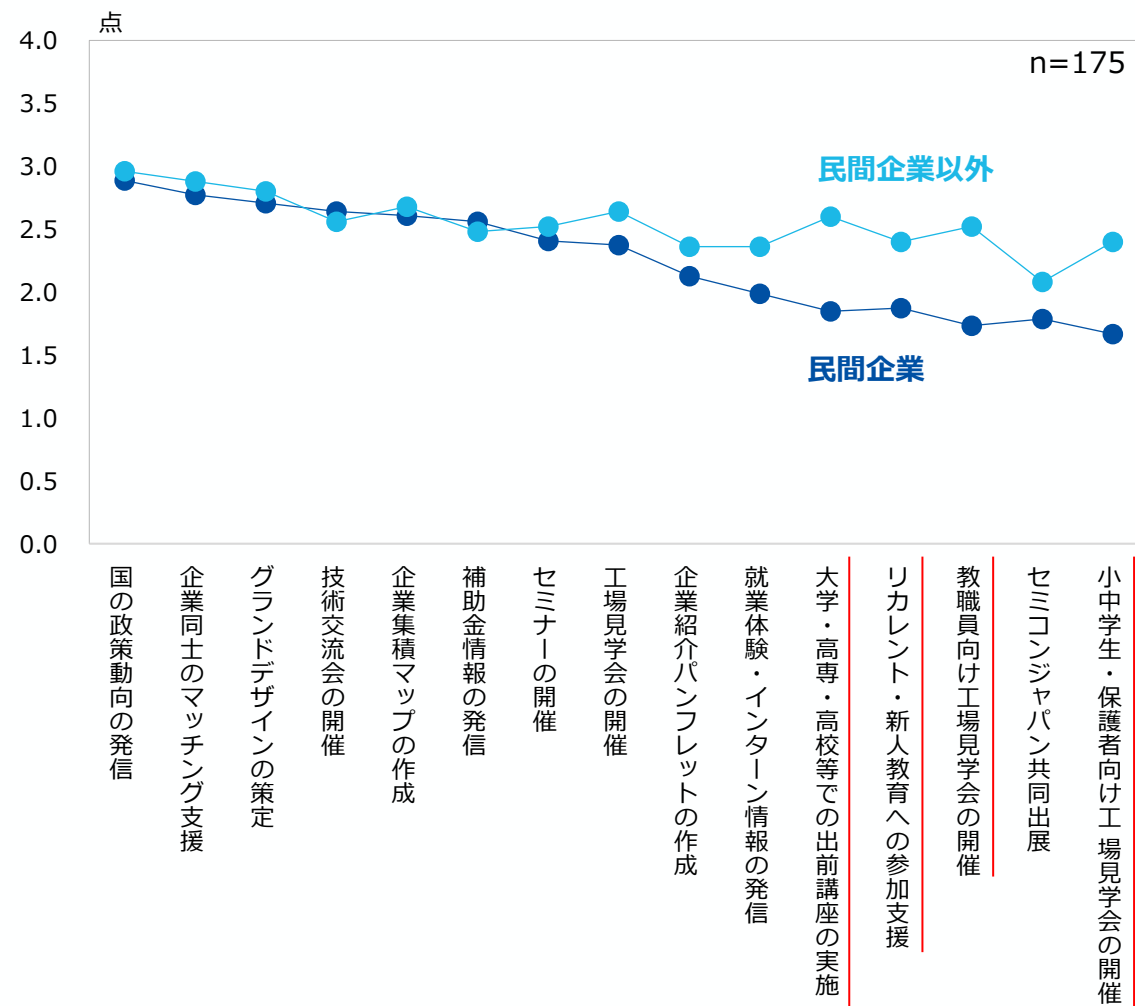
設問. 限られた予算内で、会員の皆様のご期待に可能な限り応えてまいりたいと思います。以下の活動について、貴機関としての「優先度」を選択してください。

「最優先で取り組んでほしい」との回答を4点、「優先的に取り組んでほしい」との回答を3点、「可能なら実施してほしい」との回答を2点、「あまり重要ではない」との回答を1点として、各項目の平均点を算出した。

全回答者の回答平均



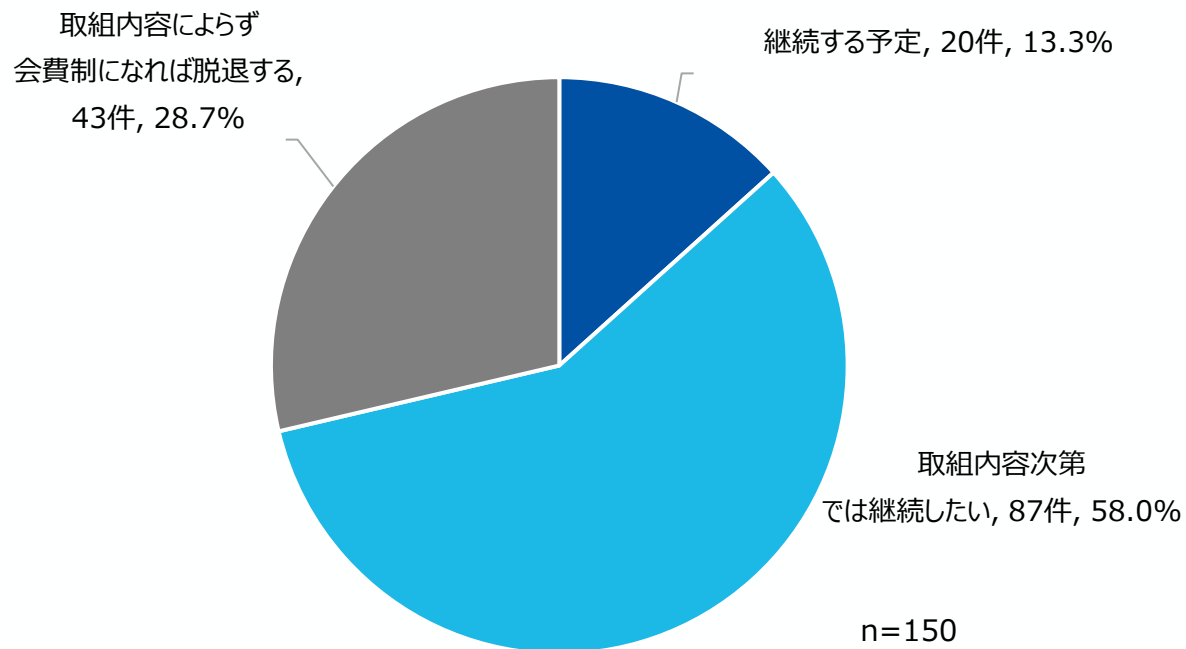
民間企業・民間企業以外の回答比較



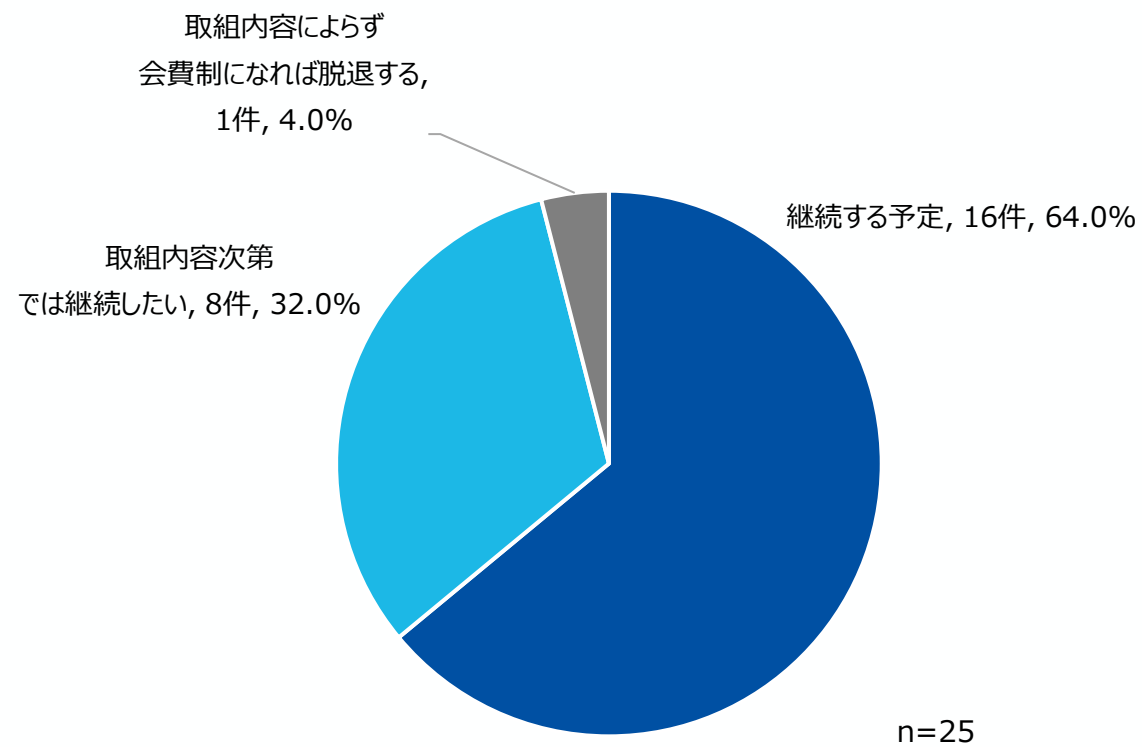
設問. 年会費制に移行した場合の、現時点での協議会への加入継続の意向について選択してください。

大企業・みなし大企業：30万円前後、中小企業：10万円前後、その他：無償（実際の金額は業種・業態に応じて調整の可能性があります）

民間企業の回答



民間企業以外の回答



今後のスケジュール

- アンケート結果も踏まえて関係各所との事前調整を行い、上半期中に組織ミッションや取組、運営体制等の素案を作成。
- 下半期にあり方検討会を2～3回開催し、組織ミッションや取組、運営体制等の議論を煮詰めて最終報告案を作成。
- 令和7年度末（令和8年3月開催予定）の総会にて最終報告を公表。
- 最終報告に従い令和8年度中なるべく早期に新たな運営体制に移行（ただし、当面の間は移行期間のため、公費と自己財源を併用して活動を行う等、中国経済産業局はこれまで同様、積極的に関与・貢献する）。 ※公費は予算成立が前提

	2024年度（令和6年度）					2025年度（令和7年度）				2026年度（令和8年度）			2027年度（令和9年度）		
	…	11月	…	2月	3月	…	6月	…	3月	…	X月	…	4月	…	3月
全体の動き				← 中間報告案の作成		→ 会員企業との打合せ・事前調整			→ 最終報告案の作成	← 準備期間		→ 自立化・自走化開始			
あり方検討会		第1回★		第2回★			会員アンケート		第3回～第5回★★★						
協議会会合（総会）					第6回★ 中間報告		第7回★		第8回★ 最終報告						
運営主体	中国経済産業局					中国経済産業局				中国経済産業局	新たな運営体制 （移行期間）		新たな運営体制 中国経済産業局（移行期間）		
予算	公費					公費				公費（予定） 自己財源等		自己財源等			